

普及現地情報
令和8年7月15日
久慈農業改良普及センター
記述者 中野 碧衣

地域の産直から学ぼう！ ～運営力向上に向けた研修会を開催しました～

久慈地域産直連絡協議会では、産直の運営力向上を目的に、7月8日に道の駅のだ「ぱあぷる」において視察研修を開催し、会員など18名が参加しました。

研修会では、初めに道の駅の駅長から産直の説明を受けた後、総務課長から各産直から寄せられた事前質問に回答していただきました。集客に向けたイベントの実施や、リピーター確保のため、継続的に新商品を開発していること、防犯対策などについて話を伺うことができました。続いて、産直施設の視察を行いました。商品の見やすさや売り場のレイアウトなどの項目が書かれたチェックシートを活用し、店内を巡りながら売り場づくりの工夫を確認しました。

視察後は、意見交換会として各産直でグループに分かれ、今後取り組みたいことなどを共有しました。参加者からは「低い陳列棚で幅広い年齢層が商品を見やすい」、「POPの色や高さが統一されていて見やすい」といった感想が聞かれました。陳列方法やPOPの見せ方について自身の産直でも取り入れたいという意見が出され、他産直の取り組みや考え方に触れながら、運営力向上に向けた多くの気づきを得る機会となりました。



チェックシートを記入しながら視察する様子。



意見交換会の様子。各産直の代表者が今後取り組んでみたいことを発表しました。